

施策評価シート（評価対象年度：令和5年度）

基本政策	4	生活基盤
主要施策名	17	自然環境
5年後の まちの姿	○市民の多くが自然と共生し、自然の恩恵を受けて生活しています。 ○美しく豊かな山・川・海が多くの人をひきつけています。	
施策展開の 基本的な考え方	行政は、まちの貴重な財産である豊かな自然を次世代に引き継ぐために、自然環境の保全と再生を進めるとともに、市民が自然と触れ合う機会や自然公園等の維持管理に参加する機会を提供します。また、市外の人からも胎内市の魅力を感じてもらえるようPRに努めます。 市民等は、身近な自然の魅力や自然保護の重要性を認識し、自然との触れ合いや維持管理を行う機会には積極的に参加するよう努めます。	
実現に向けた 取組	①豊かな自然環境の保全と再生 ②自然と共生するまちづくり ③市民・事業者・行政の協働による環境保全	
施策担当課	農林水産課	
施策関係課・係	地域整備課 管理係	

I 施策の実施状況

1 施策全体の事業費

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費（千円）	72,147	84,682			
事務事業数	8	8			
うち、事務事業評価対象	8	8			

2 成果指標の達成状況

指標	単位	基準値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和8年度 最終目標
森林病害虫被害本数	本	650	1,489	38,811				300
植栽および森林の保育活動面積〔累計〕	ha	22.15	22.40	23.16				25.0
成果指標による 現状分析	森林病害虫被害本数については、令和5年度の猛暑の影響が主な要因で植栽し年月が経過していない樹齢が若い松林にも森林病害虫（松くい虫）の被害が発生し、海岸保安林全域で猛威を振るった。 植栽及び森林の保育活動面積〔累計〕については、集落、団体、企業の協力により植栽や保育活動を実施している企業の森活動は順調に推移している。							

3 施策の進捗状況

達成度	× 遅れている
評価の理由	◆集落、団体、企業の協力により植栽や保育活動を実施している企業の森活動は順調に推移している。◆しかし、森林病害虫被害が猛威を振るい、被害本数が基準値の60倍、目標値の129倍であることから遅れていると評価をした。◆なお、令和5年度補正予算及び令和6年度当初予算にて全数駆除できるよう要求を行った。

4 取組の状況と今後の方向性

① 豊かな自然環境の保全と再生

施策の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と連携して、自然公園区域や自然環境保全地域、保安林等の自然環境の適切な管理を推進し、貴重な動植物とその生息・生育環境の保全等を図ります。 ・白砂青松の景観の保全と再生に向けて、県や市民団体、企業と連携して防除活動や植林、下草刈り等、海岸部の適切な維持管理に取り組みます。 ・森林環境譲与税を用いて、よりよい森林環境を実現していきます。
これまでの主な取組と実績
<ul style="list-style-type: none"> ◆保安林周辺の海岸浸食を防ぎ前砂丘としての働きをする防潮工を県で実施◆胎内平尼池のピオトープの保全を実施◆松くい虫被害の根絶を目指すため、松くい虫防除、駆除を継続して実施◆林業振興及び森林保全等を図るため、間伐等の実施に対し林業事業者へ補助 ◆集落、団体、企業の協力により植栽や保育活動を行う企業の森活動等を実施◆保安林内の松林の成長を促すため間伐を実施◆保安林を保護するため海岸浸食を防ぎ前砂丘としての働きをする防潮工工事を県で実施◆国及び県へ白砂青松や治山林道事業の推進と林業振興に関する要望書を提出 ◆森林整備推進のため、森林経営計画の作成支援及び認定◆森林管理の責務を明確化する森林経営管理制度に伴う意向調査を実施◆松くい虫被害の根絶を目指すため、松くい虫防除、駆除を継続して実施◆適切に森林を管理するために行う間伐や作業道開設を行う林業事業者へ補助
主な課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> ◆森林が成長するまでは時間を要するため、適切な管理、保全に努める。◆令和5年度に松くい虫の被害が海岸保安林やその周辺で爆発的に広がり、駆除に対して多くの時間や経費が必要となっている。◆被害を受けた松林については、補助金を活用するなどし、早急に駆除を実施する必要がある。 ◆集落、団体、企業と連携し、保安林内の植栽や保育活動等を実施する。◆各事業が円滑に遅滞なく進捗するよう引き続き国及び県へ要望を行う。 ◆令和6年度から課税が開始される森林環境税については、森林整備及びその促進に関する費用に活用できる目的税であることから、目的に沿った事業を実施し効果的な森林保全を目指す。

② 自然と共生するまちづくり

施策の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・国や県、その他の関係機関と連携して、自然公園区域や自然環境保全地域等に自然学習や観光にも資する散策路や観察小屋、ベンチ、トイレ等の環境整備に取り組みます。 ・自然体験施設や環境学習施設、周辺の公園の維持管理と魅力の向上を図ります。 ・河川整備の実施に併せて水辺のジョギングコースや憩いの親水空間等の自然と触れ合う場の設置を検討します。 ・関係機関と連携して山林や河川、海岸の適切な維持管理や保全施設等の整備を実施し、自然の荒廃を要因とする災害時の被害拡大を抑制します。
これまでの主な取組と実績
<ul style="list-style-type: none"> ◆県の施設である青少年の森研修館の管理運営を県から受託 ◆胎内平周辺の維持管理◆夏井河川公園の維持管理◆荒井浜森林公園等生活環境保全林の維持管理◆村松浜夕日の森公園、笹口浜臨海休養広場の維持管理◆長池憩いの森公園では憩いの場となるよう草刈り等公園整備・池整備を実施。 ◆既に胎内川兩岸に赤川霞堤公園、八幡霞堤公園が整備済み ◆河川環境整備の一環として、県から堤防等の除草作業の受託◆白砂青松海岸促進期成同盟会を通じて、国、県に海岸浸食の防止対策等を要望◆災害時の被害拡大抑制のため、県に河川の維持管理を要望
主な課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> ◆各施設とも老朽化が進み修繕等多くの経費が見込まれることから、今後の対応について検討が必要となる。 ◆各施設の草刈りや清掃などの維持管理については、関係集落等への委託や会計年度職員による管理を行う。◆長池憩いの森公園に通年眺望を楽しめる展望施設の整備を検討する。 ◆赤川霞堤公園などのPRを行い利用者の増加を図る。 ◆各施設の草刈りや清掃の委託については、各集落の作業員及び組合等の構成員の高齢化に伴い、受託者が減少傾向となっている。◆除草の要望が多く作業延長も伸びていることから、今後も継続して各集落等に作業を委託することについて協力要請を行っていく。

③ 市民・事業者・行政の協働による環境保全

施策の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・市民やボランティア団体、企業と連携した緑化や自然保護活動に取り組みます。 ・市民による公園の環境整備や魅力づくり、環境教育・環境学習での活用を積極的に支援します。 ・豊かな自然を題材にした環境教育・環境学習を通じて、環境問題に関する情報発信と意識の啓発を図ります。
これまでの主な取組と実績
<ul style="list-style-type: none"> ◆ボランティアやボランティア団体による植栽活動の実施（フラワーパーク、白鳥公園） ◆集落、団体、企業の協力により植栽や保育活動を行う企業の森活動等を実施 ◆集落による森林・山村多面的活動の実施 ◆胎内平を星まつり会場として使用 ◆ふるさと体験学習の場所として胎内平周辺や奥胎内を使用
主な課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> ◆継続的なボランティアの受入が課題となっている。◆協定に基づき企業の森活動を継続して実施することができるよう、活動場所の提供等関係機関と連携し調整を行う。 ◆各施設とも老朽化が進み修繕等多くの経費が見込まれることから、今後の対応について検討が必要となる。

5 施策の今後の方針

施策方針	◎拡充
施策方針に関する説明	◆令和5年度の猛暑の影響等から森林病虫害（松くい虫）被害が猛威を振るい、被害本数が基準値の60倍、目標値の129倍まで増加したため、被害木の調査を行い、守るべき松林（高度公益機能森林及び地区保全林）に対する被害木の全数駆除を県へ要望していくほか、守るべき松林以外の被害木の駆除についても被害拡大防止を図るため範囲を拡大し、緊急的な対策を講じていく。◆山林の管理については、森林経営管理制度に基づき森林整備の方向性について意向調査を実施し、結果を踏まえ適正な森林の管理、保全を進めていく。

II 施策を構成する事業等

事業 コード	事務事業名	R5		R6		達成度	今後の 方向性	担当課
		事業費	うち 一般財源	当初予算額	うち 一般財源			
410110	森林保全管理事業	5,574	4,073	3,814	1,962	◎	③	農林水産課
410111	森林病虫害等防除事業	27,958	10,276	105,457	57,575	×	①	農林水産課
410112	海岸松原再生事業	11,752	11,752	15,058	14,989	◎	③	農林水産課
410210	長池憩いの森公園管理事業	9,333	9,333	5,248	5,247	○	③	農林水産課
410212	青少年の森研修館運営事業	3,625	2,310	3,158	1,839	◎	③	農林水産課
410213	笹口浜臨海休養広場管理運営事業	822	822	879	879	◎	③	農林水産課
410220	河川総務事業	22,914	3,304	27,314	6,702	◎	③	地域整備課
410310	造林事業	2,704	4	2,000	1,950	○	①	農林水産課

事務事業評価シート（評価対象年度：令和5年度事業）

事業コード	410110		担当課	農林水産課	担当係	農林整備係	担当者	
事務事業名	森林保全管理事業		事業年度	令和5年度		会計区分	一般会計	
基本政策	4	生活基盤	大	41	自然環境	予算科目 項目	06	農林水産業費
主要施策	17	自然環境	中	01	豊かな自然環境の保全と再生		02	林業費
			小	10	森林保全管理事業		01	林業総務費
事務区分	法定受託事務		自治事務		○	根拠法令		
	法令による義務付け		任意			関連例規	関連計画	

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	散策などのレクリエーション利用を通じて、市民の身近な遊び場、憩いの場となっている荒井浜森林公園、村松浜夕日の森公園の管理と環境美化に努める。
主な実施内容	・荒井浜森林公園及び村松浜夕日の森公園の維持管理
実施方法	委託

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	◎	◎			
評価の理由	算出指標、成果指標ともに目標達成できているため。				

◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない

5 主な取組と実績（令和4年度～）

荒井浜森林公園については、除草作業等の管理を地元住民団体である荒井浜草刈組合に委託及び会計年度任用職員による直営で管理。
村松浜夕日の森公園については、会計年度任用職員による直営で管理。

2 事業費の状況（令和5年度以前は実績値、令和6年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	2,912	5,574	3,814		
国・県支出金	1,448	1,501	1,852		
地方債	0	0	0		
その他	0	0	0		
一般財源	1,464	4,073	1,962	0	0
人件費（千円）	1,724	1,279	0	0	0
正（h）※事業費	300	300	0	0	0
委託年度任用（h）※事業費	1,260	770	0	0	0
総事業費＋人件費	4,636	6,853	3,814	0	0
財源「その他」内訳					
事業費の主な支出内容	信号機損害賠償金 2,596千円、荒井浜森林公園下草刈り委託料 1,878千円、荒井浜森林公園賃借料 1,100千円				
単位コスト	算出方法（総事業費＋人件費）/利用者数				
実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	497円	727円			

6 協働の状況

協働の状況	実施
具体的な状況	除草作業等の一部を地元住民団体である荒井浜草刈組合に委託している。

7 事業の課題

荒井浜森林公園の国道に面している場所に植栽されている松林について、植栽から年月が経っており枝が繁茂してきていることから、交通の支障とならないよう枝払い等の管理が必要となる。

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
産出指標	名称	公園管理面積 ①荒井浜公園 ②村松浜公園	公園管理面積 ①荒井浜公園 ②村松浜公園	公園管理面積 ①荒井浜公園 ②村松浜公園	公園管理面積 ①荒井浜公園 ②村松浜公園	
	目標	①22.4ha ②0.59ha	①22.4ha ②0.59ha	①22.4ha ②0.59ha	①22.4ha ②0.59ha	
	実績	①22.4ha ②0.59ha	①22.4ha ②0.59ha			
成果指標	名称	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	
	目標	3,300人	9,000人	9,000人	9,000人	
	実績	9,320人	9,420人			
	目標比	282.4%	104.7%			

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③	③			
国道に近接しているという立地上、職員による作業は困難なため、定期的にパトロールを実施のうえ、交通に支障をきたす前に支障木等の剪定について速やかに業務委託を実施できるよう予算計上を検討する。					

9 二次評価委員会所見

		今後の方向性				
成果の方向性	拡充	×	④	②	①	
	維持	×	⑤	③	×	
	縮小	×	⑥	×	×	
	休廃止	⑦	×	×	×	
		削減	縮小	維持	拡大	
		コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和5年度事業）

事業コード	410111		担当課	農林水産課	担当係	農林整備係	担当者	
事務事業名	森林病虫害等防除事業		事業年度	令和5年度		会計区分	一般会計	
基本政策	4	生活基盤	大	41	自然環境	予算科目	06	農林水産業費
主要施策	17	自然環境	中	01	豊かな自然環境の保全と再生		02	林業費
			小	11	森林病虫害等防除事業		01	林業総務費
事務区分	法定受託事務		○	根拠法令	森林病虫害等防除法		関連計画	
	法令による義務付け			関連例規			胎内市森林整備計画	

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	松くい虫被害の終息化を図るため、航空散布や地上散布等の予防散布と伐倒駆除等の被害木の除去を実施する。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 被害予防のための薬剤散布 被害木の伐倒駆除・くん蒸 被害木把握のための調査 防除を実施する団体・個人への補助金交付
実施方法	市が直接実施+委託

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	×	×			
評価の理由	令和5年度の猛暑等の影響もあり、薬剤散布未実施地区の被害本数が増加しているため。				

◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない

5 主な取組と実績（令和4年度～）

<ul style="list-style-type: none"> ヘリコプターによる航空散布80ha 無人ヘリコプターによる航空散布57.5ha 被害木の伐倒、駆除、くん蒸30,845本（繰越分含む）

2 事業費の状況（令和5年度以前は実績値、令和6年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
総事業費（千円）	22,103	27,958	105,457			
国・県支出金	12,355	11,998	47,882			
地方債	0	0	0			
その他	2,897	5,684	0			
一般財源	6,851	10,276	57,575	0	0	
人件費（千円）	3,389	3,839	0	0	0	
正(h) ※事業費 ※事業費 ※事業費 ※事業費 ※事業費	1,770	2,000	0	0	0	
委任(h) ※事業費 ※事業費 ※事業費	80	100	0	0	0	
総事業費+人件費	25,492	31,797	105,457	0	0	
財源「その他」内訳	森林環境譲与税 5,684千円					
事業費の主な支出内容	防除事業委託料（補助） 19,733千円、防除事業委託料（単独） 6,662千円、ゴルフ場補助金 1,000千円					
単位コスト	算出方法	薬剤散布による防除面積 1ha当たりのコスト 薬剤散布防除委託料/薬剤散布面積				
	実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		82,664円	84,704円			

6 協働の状況

協働の状況	実施不可
具体的な状況	専門的な技術が必要なため。

7 事業の課題

住宅や農地に隣接して薬剤散布ができないエリアで被害本数が増加傾向にある。平成25年以降に海岸線に植樹した樹齢が若い松についても松くい虫の被害が広い区域で確認され、被害量も増加傾向にある。

3 指標値の状況

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	薬剤散布面積	薬剤散布面積	薬剤散布面積	薬剤散布面積	
	目標	140ha	140ha	187ha	187ha	
	実績	137.5ha	137.5ha			
成果指標	名称	被害本数	被害本数	被害本数	被害本数	
	目標	200本	200本	200本	200本	
	実績	1,489本	38,811本			
	目標比	△544.5%	19,205.5%			

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	①	①			
低飛行、自動航行による薬剤飛散リスクの軽減効果が期待できる、ドローンによる薬剤散布区域の拡大を検討する。効果的かつ効率的な被害木調査方法、伐倒駆除の委託方法について、県と相談を行い検討を進める。					

9 二次評価委員会所見

成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
		削減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和5年度事業）

事業コード	410112		担当課	農林水産課	担当係	農林整備係	担当者	
事務事業名	海岸松原再生事業		事業年度	令和5年度		会計区分	一般会計	
基本政策	4	生活基盤	大	41	自然環境	予算科目	款	06 農林水産業費
主要施策	17	自然環境	中	01	豊かな自然環境の保全と再生		項	02 林業費
			小	12	海岸松原再生事業		目	01 林業総務費
事務区分	法定受託事務		自治事務		○	根拠法令		
	法令による義務付け		任意			関連法規	関連計画	

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	美しい海岸松原を再生していくため、環境整備を進める。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 海岸部における森林整備 松くい虫被害木調査 松くい虫被害木の処理
実施方法	市が直接実施

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	◎	◎			
評価の理由	算出指標、成果指標ともに目標達成できているため。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

(該当なし)

2 事業費の状況（令和5年度以前は実績値、令和6年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	12,014	11,752	15,058		
国・県支出金	0	0	0		
地方債	0	0	0		
その他	10	0	69		
一般財源	12,004	11,752	14,989	0	0
人件費（千円）	337	337	0	0	0
正(h) ※事業費	180	180	0	0	0
委任(h) ※事業費	5,700	5,900	0	0	0
総事業費+人件費	12,351	12,089	15,058	0	0
財源「その他」内訳					
事業費の主な支出内容	会計年度任用職員給料 7,277千円、期末手当 1,530千円、自動車借上料 595千円、共済費 1,538千円				
単位コスト					
算出方法					
実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度

6 協働の状況

協働の状況	実施不可
具体的な状況	伐採作業等、専門的技術が必要なため。

7 事業の課題

松くい虫被害が拡大する中で、被害木調査範囲や被害木の伐採作業が増加してきている。

3 指標値の状況

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	被害木調査面積	被害木調査面積	被害木調査面積	被害木調査面積	
	目標	300ha	500ha	500ha	500ha	
	実績	518ha	550ha			
成果指標	名称	海岸林整備備面積	海岸林整備備面積	海岸林整備備面積	海岸林整備備面積	
	目標	10ha	6ha	6ha	6ha	
	実績	10ha	6.7ha			
	目標比	100.0%	111.7%			

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③	③			
会計年度任用職員への過大な負担とならないよう、効果的かつ効率的な被害木調査方法、伐倒駆除の委託方法について、県とも相談しながら検討を進め、森林病虫害等防除事業との密な連携を図っていく。					

9 二次評価委員会所見

今後の方向性					
成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
		削減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和5年度事業）

事業コード	410210		担当課	農林水産課	担当係	農村交流係	担当者	
事務事業名	長池憩いの森公園管理事業		事業年度	令和5年度		会計区分	一般会計	
基本政策	4	生活基盤	大	41	自然環境	予算科目	款	06 農林水産業費
主要施策	17	自然環境	中	02	自然と共生するまちづくり		項	01 農業費
			小	10	長池憩いの森公園管理事業		目	05 農業振興費
事務区分	法定受託事務		自治事務		○	根拠法令	関連法規	
	法令による義務付け		任意			関連法規	胎内市長池憩いの森公園条例胎内市長池農産物直売所条例	

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	豊かな森林資源に囲まれた長池憩いの森公園の管理を行い、市民のレクリエーション活用やすらぎの場として提供する。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 長池憩いの森公園清掃等業務委託 長池憩いの森公園維持管理 公園用地借地
実施方法	市が直接実施+委託

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	△	○			
評価の理由	◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない 成果指標の目標値が下回ったため。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

R4農産物直売所の運営管理について受託者と協議し更新手続きを行った。
R5長池展望施設基本設計
R5農産物直売所の運営管理について年度末で終了

2 事業費の状況（令和5年度以前は実績値、令和6年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	4,762	9,333	5,248		
国・県支出金	0	0	0		
地方債	0	0	0		
その他	0	0	1		
一般財源	4,762	9,333	5,247	0	0
人件費（千円）	450	450	0	0	0
正(h) ※事業費 ※事務任用(h) ※事業費	240	740	0	0	0
総事業費+人件費	5,212	9,783	5,248	0	0
財源「その他」内訳					
事業費の主な支出内容	長池展望施設基本設計業務委託料 4,400千円 長池周辺地区借地料 2,496千円 長池公園清掃等管理委託料 1,496千円 光熱水費 440千円 修繕費 372千円				
単位コスト	算出方法 (総事業費+人件費) / 利用者数				
実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	95円/人	166円/人			

6 協働の状況

協働の状況	実施
具体的な状況	長池公園清掃等管理を長池農産物直売所の管理委託者へ委託している。

7 事業の課題

<ul style="list-style-type: none"> 農産物直売所について、物価高騰、光熱水費等の上昇などの理由で管理者が協定解除となり令和6年度からは直営での営業となる。今後直営、委託どちらの営業がいいのか検討が必要である。 チューリップフェスティバル開催期間外は利用者が少ないため集客につながるイベント等を検討する必要がある。 新潟食料農業大学と連携して学生の実学の場として活用を図る必要がある。

3 指標値の状況

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	農産物直売所開館日数	農産物直売所開館日数	農産物直売所開館日数	農産物直売所開館日数	
	目標	317日	317日	317日	317日	
	実績	289日	235日			
成果指標	名称	年間公園施設利用者数	年間公園施設利用者数	年間公園施設利用者数	年間公園施設利用者数	
	目標	80,000人	70,000人	70,000人	70,000人	
	実績	54,894人	59,066人			
	目標比	69%	84.4%			

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	①	③			
<ul style="list-style-type: none"> 公園内への展望施設設置について、保安面や眺望、設置場所、予算規模等を含めて検討する。 チューリップフェスティバル開催期間以外に月1回程度のイベント実施等で、市民の憩いの場としての活用など公園の利用者増に努める。 展望施設について庁内関係課で構成する検討会を設置し公園内に展望台を整備する課題等について今後の方向性等を考えていく。 					

9 二次評価委員会所見

産出指標及び成果指標について、見直しを行うこと。

今後の方向性					
成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
	削減	縮小	維持	拡大	
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和5年度事業）

事業コード	410212		担当課	農林水産課	担当係	農林整備係	担当者	
事務事業名	青少年の森研修館運営事業			事業年度	令和5年度		会計区分	一般会計
基本政策	4	生活基盤	大	41	自然環境	予算科目	款	06 農林水産業費
主要施策	17	自然環境	中	02	自然と共生するまちづくり		項	02 林業費
			小	12	青少年の森研修館運営事業		目	01 林業総務費
事務区分	法定受託事務		自治事務		○	根拠法令		
	法令による義務付け		任意			関連例規	関連計画	

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	次代を担う青少年が自然の中で野外活動に親しみ、心身の鍛錬と森林愛護思想の普及啓発として研修の場を提供する。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・芝刈、草刈、間伐の実施 ・トイレ清掃 ・来場者の案内
実施方法	市が直接実施

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	◎	◎			
評価の理由	算出指標、成果指標ともに目標達成できているため。				

◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない

5 主な取組と実績（令和4年度～）

R5 受水槽改修工事

2 事業費の状況（令和5年度以前は実績値、令和6年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	2,475	3,625	3,158		
国・県支出金	1,294	1,315	1,315		
地方債	0	0	0		
その他	0	0	4		
一般財源	1,181	2,310	1,839	0	0
人件費（千円）	1,036	267	0	0	0
正(h)	110	110	0	0	0
※事業費 ※事業 ※任用(h) ※業務費	1,494	1,355	0	0	0
○	1,494	1,355	0	0	0
総事業費+人件費	3,511	3,892	3,158	0	0
財源「その他」内訳					
事業費の主な支出内容	受水槽改修工事 1,199千円、会計年度任用職員給料 1,179千円、光熱水費 339千円、使用料及び賃借料 193千円、修繕費 182千円				
算出方法	利用者1人当たりコスト 総事業費+人件費/年間周辺施設利用者数				
実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	81円	39円			

6 協働の状況

協働の状況	実施不可
具体的な状況	県からの委託事業のため。

7 事業の課題

施設の老朽化対策について、費用対効果を考慮のうえ経費の抑制と安全な施設運用の検討を進める。

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	研修館管理日数	研修館管理日数	研修館管理日数	研修館管理日数
	目標	157日	157日	157日	157日
	実績	163日	165日		
成果指標	名称	年間周辺施設利用者数	年間周辺施設利用者数	年間周辺施設利用者数	年間周辺施設利用者数
	目標	50,000人	70,000人	70,000人	70,000人
	実績	57,700人	98,840人		
	目標比	115%	141.2%		

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③	③			
施設の老朽化対策について、費用対効果を考慮のうえ経費の抑制と安全な施設運用の検討を進める。					

9 二次評価委員会所見

今後の方向性	拡充	④	②	①
	維持	⑤	③	
	縮小	⑥		
	休廃止	⑦		
	削減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和5年度事業）

事業コード	410213	
事務事業名	笹口浜臨海休養広場管理運営事業	
	担当課	農林水産課
	担当係	農林整備係
	担当者	
基本政策	4 生活基盤	事業年度 令和5年度
主要施策	17 自然環境	会計区分 一般会計
		大 41 自然環境
		中 02 自然と共生するまちづくり
		小 13 笹口浜臨海休養広場管理運営事業
事務区分	法定受託事務	自治事務
	法令による義務付け	任意
	○	根拠法令
		関連法規
		関連計画

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	笹口浜地内の沿岸に設置している臨海休養広場を管理し、白砂青松の観察や地元漁師、観光客等の休養の場として提供する。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレ清掃 ・広場の清掃、見回り ・フェンス修繕 ・護岸修繕
実施方法	市が直接実施+委託+補助・負担

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	◎	◎			
評価の理由	算出指標、成果指標ともに目標達成できているため。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

<p>トイレや広場の清掃を行い美観を整えることにより市民や観光客の憩いの場の提供を行った。</p>

2 事業費の状況（令和5年度以前は実績値、令和6年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	862	822	879		
国・県支出金	0	0	0		
地方債	0	0	0		
その他	0	0	0		
一般財源	862	822	879	0	0
人件費（千円）	618	450	0	0	0
正（h）※事業費	330	240	0	0	0
委任（h）※事業費	0	0	0	0	0
総事業費+人件費	1,480	1,272	879	0	0
財源「その他」内訳	委託料 459千円、光熱水費 92千円、負担金 150千円				
事業費の主な支出内容	委託料 459千円、光熱水費 92千円、負担金 150千円				
算出方法	利用者1人あたり運営コスト（総事業費+人件費）/利用者数				
実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	159円	135円			

6 協働の状況

協働の状況	実施
具体的な状況	笹口浜漁業者へ広場の管理業務、トイレ清掃を委託している。

7 事業の課題

<p>高波による護岸崩落の進行や、広場内のフェンスの老朽化が進んでいることから、安全な管理を行うため施設の状況について危険度を確認し、保安林内に市が設置した施設であることから必要に応じ修繕をすることについて検討していく。</p>
--

3 指標値の状況

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	清掃回数	清掃回数	清掃回数	清掃回数	
	目標	84回	84回	84回	84回	
	実績	86回	88回			
成果指標	名称	年間利用者数	年間利用者数	年間利用者数	年間利用者数	
	目標	990人	9,000人	9,000人	9,000人	
	実績	9,320人	9,420人			
	目標比	941.4%	104.6%			

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③	③			
<p>・トイレ及び広場の管理は、地元漁業者に委託を行っており、苦情もなく一定数の利用がある。 ・広場護岸部やフェンスについては、計画的に取替が必要である。 ・保安林内施設であるため、県と連携しつつ安全面に考慮し、引き続き維持管理を行っていく。</p>					

9 二次評価委員会所見

<p>（空欄）</p>

今後の方向性				
成果の方向性	拡充	④	②	①
	維持	⑤	③	
	縮小	⑥		
	休廃止	⑦		
	削減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和5年度事業）

事業コード	410220		担当課	地域整備課	担当係	管理係	担当者	
事務事業名	河川総務事業		事業年度	令和5年度		会計区分	一般会計	
基本政策	4	生活基盤	大	41	自然環境	予算科目 項目	08	土木費
主要施策	17	自然環境	中	02	自然と共生するまちづくり		03	河川費
			小	20	河川総務事業		01	河川総務費
事務区分	法定受託事務		○	根拠法令	河川法		関連計画	
	法令による義務付け			義務	関連例規		河川水系荒川圏域河川整備計画、他内川水系河川整備計画、海部川水系河川整備計画	

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	新潟県からの河川環境整備を受託し、堤防等の除草作業を行うほか、河道掘削や伐採等を行い流下能力を高め災害防止を図る。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ●堤防等の除草作業を実施する。 ・参加団体等は下記のとおり 自治会等 10団体 農家組合 10団体 業者 11業者 合計 31 ・河川延べ延長 53,980m ・面積 358,830㎡ ●河川改修工事（整備、浚渫、残土処理） ・船戸、羽黒地内 ・施工延長 178.64m
実施方法	委託

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	◎	◎			
評価の理由	◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない 除草作業が年1回のため、雑草対策としては十分といえない。居住地域周辺は、虫などの発生を抑える必要があるため、複数回実施を望む意見がある。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

<ul style="list-style-type: none"> ・地域からの要望による除草箇所を拡大。 ・県と協議を重ね、引き続き委託単価の引き上げを要望している。 R5：羽黒地内河川改修工事、東本町地内河川改修工事

2 事業費の状況（令和5年度以前は実績値、令和6年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	26,279	22,914	27,314		
国・県支出金	12,036	11,910	11,911		
地方債	9,800	7,700	8,700		
その他	0	0	1		
一般財源	4,443	3,304	6,702	0	0
人件費（千円）	882	882	0	0	0
正(h) ※事業費 ※事業費 ※事業費	471	471	0	0	0
委託年度 任用(h) ※事業費	0	0	0	0	0
総事業費+人件費	27,161	23,796	27,314	0	0
財源「その他」内訳					
事業費の主な支出内容	委託料 12,824千円、工事請負費 7,729千円、負担金補助及び交付金 2,250千円				
単位コスト					
算出方法					
実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度

6 協働の状況

協働の状況	実施
具体的な状況	(実施) 10自治会・集落と連携して草刈りを実施。

7 事業の課題

市からの作業受託者の高齢化に伴い、地元での受託が困難となってきている地域がある。その代替えとして事業者確保も課題となってきている。

3 指標値の状況

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	受託面積	受託面積	受託面積	受託面積	
	目標	357,150㎡	357,150㎡	357,150㎡	357,150㎡	
	実績	357,150㎡	358,830㎡			
成果指標	名称	受託実施率	受託実施率	受託実施率	受託実施率	
	目標	100%	100%	100%	100%	
	実績	100%	100%			
	目標比	100%	100%			

8 課題解決に向けた今後の取組

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
今後の方向性	③	③			
県も財政難ではあるが、害虫発生対策のために引き続き年2回の除草を県に要望していく。地域住民の協力が欠かせないため、地域への協力要請を積極的に行う。					

9 二次評価委員会所見

今後の方向性					
成果の方向性	拡充	◎	④	②	①
	維持	◎	⑤	③	◎
	縮小	◎	⑥	◎	◎
	休廃止	◎	◎	◎	◎
		削減	◎	◎	◎
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和5年度事業）

事業コード	410310		担当課	農林水産課	担当係	農林整備係	担当者	
事務事業名	造林事業		事業年度	令和5年度		会計区分	一般会計	
基本政策	4	生活基盤	大	41	自然環境	予算科目	06	農林水産業費
主要施策	17	自然環境	中	03	市民・事業者・行政の協働による環境保全		02	林業費
			小	10	造林事業		02	林業振興費
事務区分	法定受託事務		○	根拠法令	森林法			
	法令による義務付け			関連例規			関連計画	森林経営計画

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	地球温暖化防止や森林の公益的機能の維持・増進を図っていくため、森林を造成し植栽、除間伐等森林整備を推進する。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市林地の間伐 ・私有林の意向調査及び森林整備 ・間伐補助金の交付
実施方法	委託+補助・負担

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	○	○			
評価の理由	市が委託する市有林の間伐面積は目標に達したが、市内における私有林の間伐等の施業面積が若干下回ったため、達成と評価した。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

令和4年度の意向調査結果に伴い、市に経営を委ねることを検討してみたい森林を対象として、樹木の胸高直径や樹高などを調べる森林プロット調査を実施した。

2 事業費の状況（令和5年度以前は実績値、令和6年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	1,489	2,704	2,000		
国・県支出金	69	0	0		
地方債	0	0	0		
その他	1,420	2,700	50		
一般財源	0	4	1,950	0	0
人件費（千円）	1,498	1,311	0	0	0
正(h) ※事業費 ※事業 ※任用(h) 業務	800	700	0	0	0
委託年度	0	0	0	0	0
総事業費+人件費	2,987	4,015	2,000	0	0
財源「その他」内訳	森林環境譲与税 2,700千円				
事業費の主な支出内容	委託料 1,704千円、補助金 1,000千円				
算出方法	間伐施業面積当たりの経費 （総事業費+人件費/間伐施業面積）				
実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	178,328円	226,070円			

6 協働の状況

協働の状況	実施不可
具体的な状況	伐採作業等専門的技術が必要なため。

7 事業の課題

令和元年度から森林経営管理制度に伴う意向調査を実施中であるが、未相続や転居等により所有者の所在が分からないなど回収率は65%である。うち半数近くが市に経営を委ねることについて検討してみたいとの回答であることから、森林が荒廃しないよう今後の森林整備の方向性を検討しなければならない。

3 指標値の状況

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	間伐等委託面積（市有林）	間伐等委託面積（市有林）	間伐等委託面積（市有林）	間伐等委託面積（市有林）	
	目標	1.0ha	1.0ha	1.0ha	1.0ha	
	実績	0ha	1.03ha			
成果指標	名称	市内施業面積（間伐実施面積）	市内施業面積（間伐実施面積）	市内施業面積（間伐実施面積）	市内施業面積（間伐実施面積）	
	目標	16.0ha	18ha	20ha	22ha	
	実績	16.75ha	17.76ha			
	目標比	105%	98.67%			

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	①	①			
意向調査の結果を踏まえ、「市に経営を委ねることについて検討してみたい」との意向がある者に対し市へ経営管理を委託することについて意向・申出の確認を行い、森林経営管理制度に基づき森林環境譲与税を活用などをし、森林の管理・保全を進めていく。					

9 二次評価委員会所見

森林環境譲与税の使途について、検討すること。

今後の方向性					
成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
	削減	縮小	維持	拡大	
コスト投入の方向性					